

コース
No.14

「新日本歩く道紀行100選」認定～水辺の道～

県下最大級「あびき湿原」散策コース

最寄駅：北条鉄道 網引駅

播磨国風土記ゆかりの地コース

約6km
一般向

約1時間45分
(休憩時間を除く)

所要時間の目安

北条鉄道
網引駅スタート

約25分

状覚古墳

約30分

あびき湿原

約30分

糠塚古墳

約20分

北条鉄道
網引駅ゴール

【問合先】
加西市観光案内所
(北条鉄道 北条町駅内)
TEL 0790-42-8823

コースガイド

北条鉄道網引駅を出て踏切を渡り直進。網引橋を渡ってすぐに左折する。川沿いの道をしばらく進むと県道79号線に出るので右折。左手の糠塚山を眺めながら歩道を歩くと、南網引の交差点手前の車道沿いに状覚古墳がある。交通量が多いので車に注意して見学しよう。信号を左折し住吉神社前の川を渡る。分岐を右へ曲がると池の側にあびき湿原の案内板が立っている。池や畑沿いの道を進んで行くと途中から山道に入る。夏場だと途端に涼しくなり心地よい。山道脇にはチョウの食料となる貴重な草花が生えているので注意して歩こう。湿原は遊歩道が整備されており、間近で珍しい昆虫や草花を観察できる。湿原の傍に座りゆっくりと自然を満喫しよう。

帰りは川近くの分岐を直進して町内の道を歩く。川沿いの道と合流すると、丘の上に糠塚古墳がある。県道79号線を右折し川を渡り、踏切の手前を車に注意して、横断し左へ。道なりに進むと網引駅に到着。



イチオシ あびき湿原

あびき湿原は、加西市の重要な生態系に選ばれている県下最大級の湧水湿原です。ヒメタイコウチやハッチョウトンボ、サイコクヒメコウホネなど、非常に多くの絶滅危惧種の動植物が生息しています。この豊かな自然を子どもたちに伝えていくため、平成25年冬から地元住民やボランティアによる保全活動も活発に行われています。



播磨国風土記ゆかりの地

【糠塚山(ぬかつかやま)】
風土記の中で大汝命(おこなむじのみこと)が稲をついたとき、ヌカがこの岡に飛んできたことから「ぬかおか」と呼ばれたと伝えられており、周辺には古墳が複数発見されています。

